

第 68 回(令和元年度)横浜文化賞 受賞者決定

贈呈式・記念コンサートに市民の皆様(250 人)をご招待

横浜市の最高顕彰である横浜文化賞の今年度の受賞者が決定しました。

受賞者は、令和元年 9 月 5 日に開催された横浜文化賞選考委員会（委員長：窪田 吉信 横浜市立大学学長）において選ばれました。

令和元年 11 月 22 日（金）に贈呈式を開催し、贈呈式・記念コンサートに、市民の皆様 250 人をご招待します。

1 受賞者

(1) 横浜文化賞

芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々

（各部門別 50 音順、敬称略）（年齢は、10 月 11 日現在）

部門	分野	氏名	年齢	職業等
文化・ 芸術部門	芸術	げきだんし き 劇団四季	1953 年 創設	演劇団体
	文化	ひらいで ようじ 平出 揚治	77 歳	ゴールデン文具(株) 取締役会長
	学術	よしだ こういち 吉田 鋼市	72 歳	横浜国立大学名誉教授
社会貢献・ スポーツ部門	まち づくり	きたむら ひろし 北村 宏	71 歳	関内・関外地区活性化協議会会長 / (株)キタムラ代表取締役
	社会 貢献	きはら ゆりこ 木原 ゆり子	82 歳	横浜市立大学 木原生物学研究所 木原記念室名誉室長

(2) 横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

文化・芸術部門において、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々

（50 音順、敬称略）（年齢は、10 月 11 日現在）

分野	氏名	年齢	職業等
芸術	あさい ゆうすけ 浅井 裕介	38 歳	画家/アーティスト
文化	かじわら としゆき 梶原 俊幸	42 歳	映画館シネマ・ジャック & ベティ 支配人

2 贈呈式・記念コンサート

令和元年 11 月 22 日（金）に横浜みなとみらいホール小ホールで贈呈式と、記念コンサートを開催します。この贈呈式・記念コンサートに、抽選で市民の皆様(250 人)をご招待します（別添チラシ参照）。

記念コンサート(ヴァイオリン)出演：大関 万結（おおせき まゆ（平成 30 年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞））

お問合せ先
文化観光局文化振興課長 野田 日文 Tel 045-671-3703

横浜文化賞

—【文化・芸術部門】—

1 ^{げきだん し き}劇団四季

市内（あざみ野）に本拠地となる稽古場を置く、名実ともに日本を代表する劇団。ミュージカルをはじめとする世界水準の舞台芸術を発信し続けるとともに、長年、社会貢献活動として、様々な次世代育成事業を全国的に展開。「こころの劇場」は、次代を担う子どもたちに本物の舞台芸術に触れる機会を提供するため、同劇団が（財）舞台芸術センターと共に子どもたちを招待する事業で、本市においては昨年までに40年間にわたって実施され、約55万人もの子どもたちが舞台を鑑賞。「美しい日本語の話し方教室」は、劇団の俳優が、話し言葉としての日本語を明晰に話すための授業を行うもので、昨年度は市内約150校で実施。

演劇団体



撮影：山之上雅信

2 ^{ひらいで ようじ}平出 揚治

“日本を代表する文化である書道を伝え・広め・継承する”という理念のもと、横浜を拠点に書道文化の普及発展に努める第一人者。会長をつとめるゴールデン文具（桜木町ぴおシティ）は、取扱点数が一万点以上にも及ぶ全国的に有名な書道用品専門店。

店舗経営のかたわら、書道展主体のギャラリーや書道教室を開設、神奈川県代表書家展の主催や書道の日中交流を実施するなど、50年以上にわたり、書道文化の普及・振興・発展・後継者育成に大きく貢献。さらに、桜木町ぴおシティ商店会会長、野毛地区振興事業協同組合理事長、野毛地区街づくり会会長として、野毛地区の振興に尽力。

ゴールデン文具(株)取締役会長



3 ^{よしだ こういち}吉田 鋼市

横浜国立大学で30年以上にわたり教鞭を執り、今なお研究を続ける、横浜を代表する西洋建築史の研究者。

市内の近代建築を調査研究し、その歴史や魅力を検証。横浜の建築史について学問的に大きな功績を残すとともに、多くの著書や講演を通じ、その文化財的価値を広く紹介。

横浜赤レンガ倉庫や横浜生糸検査所など、著名な歴史的建造物はもちろん、地域の歴史や生活、経済に関わる多様な建築まで、横浜のみならず県内の幅広い地域を対象に、専門的見地に基つき、建造物の保存と活用に尽力。

1988年より横浜市歴史的景観保全委員会委員。

横浜国立大学名誉教授



—【社会貢献・スポーツ部門】—

4 ^{きたむら ひろし}北村 宏

関内・関外地区活性化協議会会長/㈱キタムラ代表取締役

横浜のまちの賑わいづくりを牽引する第一人者。

2012年設立の関内・関外地区活性化協議会では、数多くの組織をまとめあげ、地域全体の活性化へ向けた議論の陣頭指揮を執るなど、設立当初から会長としてそのリーダーシップを発揮。「横浜観光・MICE宣言」をはじめ、「関内・関外地区」の持続的活性化に大きく寄与。

さらに、開港160周年となる今年、「横浜セントラルタウンフェスティバルY160」において実行委員長を務め、横浜らしい演出を凝らしたプログラムで馬車道、関内、山下公園通り、中華街、元町・山手に、市内外から多数の来場者を呼び込み、まちの賑わいづくりに大きく貢献。



5 ^{きはら こ}木原 ゆり子

横浜市立大学 木原生物学研究所 木原記念室名誉室長

横浜における生命科学振興の推進者。

ゲノム概念を確立した遺伝学者・植物学者である父・木原 ^{ひとし}均博士の研究理念を受け継ぎ、旧木原生物学研究所（現：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団）入所以来（1978年）、一貫して横浜における生命科学の振興に貢献。

未来の科学者の芽を育むことを目的に、生きものの観察、調査、実験などの活動を奨励する木原記念こども科学賞の審査員を務め、横浜の子どもたちに対する生命科学の知識普及啓発に尽力。

2010年より木原記念室名誉室長として、生命科学を学ぶ学生や市民に対する展示や講演会等の企画に従事。木原博士の研究姿勢や業績を伝え続けている。



横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

1 あさい ゆうすけ 浅井 裕介

スケールの大きな独自性あふれる動植物や人物画で注目を集める横浜出身の若手画家／アーティスト。

市内の高校卒業後、母校で助手をしながら市内にアトリエを構え、精力的に作品を発表。BankART1929 馬車道、横浜市民ギャラリーあざみ野等、市内を代表する創造界隈拠点や文化施設での企画展への参加実績多数。

今年度の横浜美術館開館 30 周年記念展にゲスト・アーティストとして参加し、壁画《いのちの木》を制作発表。

国際芸術祭への招聘、海外でのアートプロジェクトへの参加が複数予定されており、今後、世界的な活躍に期待。

画家/アーティスト



Photo by Yosuke Takeda

2 かじわら としゆき 梶原 俊幸

映画館シネマ・ジャック&ベティ支配人

映画ファンが愛してやまない横浜を代表するミニシアター「シネマ・ジャック&ベティ」の若き支配人。

同氏の映画業界との幅広いネットワークを生かした上映ラインナップ、話題作に限定しない実験的・上映機会の少ない作品の上映は、多くの映画ファンを魅了。Dance Dance Dance @ YOKOHAMA や横浜音祭り、フランス映画祭など、市の参画する大型フェスティバルに自主企画で参加するとともに、大岡川桜まつりをはじめとする地域のイベントにも映画をキーに、積極的に参加することで、関外エリアの文化芸術によるまちづくりに貢献。今後も横浜の映画文化の継承者としての活躍に期待。

